

おもちゃランドへ1年生を招待

2年生が生活科で作ったおもちゃで遊んでもらおうと、12月16日の2限目と3限目に1年生を招待しました。

2年生の歓迎の言葉から「おもちゃランド」が始まりました。2年生の1組から3組までの教室に、1年生が数人ずつのグループで訪れ、2年生手作りのゲームを楽しみます。2年生は、お世話役に徹して、訪れた1年生に一生懸命ルールややり方を説明していました。1年生が始める前にお手本を示す子もいて、自分たちが作ったゲームを楽しんでもらいたいとの気持ちが伝わってくるようです。

「パッケンヘビ」のコーナーでは、画用紙で作ったヘビの口に磁石を付けてあるので、磁石を付けた割り箸を近づけると、ヘビが飛びついたり、逆に逃げたりします。磁石のN極とS極の性質を活かしたゲームです。

「ロケットポン」のコーナーでは、筒の両端にプラスチックの容器をはめ込み、一方の端を手でポンと押して、反対側の容器を的にめがけて飛ばします。圧縮された空気の利用したゲームで、子どもたちは何度も高い得点の的にめがけて飛ばしていました。

2年生の「おもちゃランド」の学習では、身近にあるものを使って遊びに使うものを工夫して作ったり、遊び方を考えたりして楽しく活動することをねらいとしています。今回作ったおもちゃは、それぞれ空気力や磁石力、ゴム力等を使って動くように工夫した物ばかりです。紙コップに輪ゴムを付けて飛ばす遊びを作った子たちは、「ゴムがゆるいと高く飛ばないところが、難しかった」と話してくれるなど、試行錯誤しながらおもちゃ作りを楽しんでいたようです。

また、参加した1年生からは、『ホバーカー』はすごかったのしかったです。ありがとうございました。またあそびにくるね』との感想も聞かれました。

